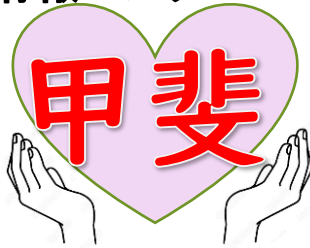




あった



てっ！

2024年
2月発行
[運営]
合同会社カナエール

〒400-0005甲府市北新1-2-12県福祉プラザ1階 電話 055-254-8660 FAX 055-254-8665
Eメール deafyamanashi@canayell.co.jp ホームページ <http://canayell.co.jp/>

この度、令和6年能登半島地震に際し、被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
被害地の一日も早い復旧にご尽力されている皆様の安全をお祈りいたします。

ヘレン・ケラー女史と「盲ろう者」

盲ろう者とは「目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障害を併せ持つ人」のことをいいます。世界の偉人伝に「ヘレン・ケラー」も含まれており、知る方が多いでしょう。あなたの身近に盲ろう者がいるのです。なぜならば、日本で初めて盲ろう児教育の発祥地は当県で、山梨県手話言語条例の冒頭にも明記されています。ただ、身体障害者手帳には、「盲ろう者」と明記せず、「聴覚障害」と「視覚障害」となります。

盲ろう者の多様性

- ・全盲ろう (見えない、聴こえない)
- ・弱視ろう (少し見える、聴こえない)
- ・盲難聴 (見えない、聴こえにくい)
- ・弱視難聴 (少し見える、聴こえにくい)

様々なコミュニケーション手段

■触る

触手話、指文字、手書き文字、点字筆記、触指文字

■見る

文字筆記(拡大、色彩反転)、弱視手話

■聴く

音声(補聴器や人工内耳、オプションのマイク等)

盲ろう者通訳・介助者とは

盲ろう者の目と耳の代わりとなり、通訳と介助の両方を支援します。通訳・介助者には、聴こえる人だけではなく、ろう者もいます。ろうベース盲ろう者は、ろう者の通訳・介助者の方が思考も心理も似ている、同じ第一言語が手話であることから安心感があります。聴こえる通訳介助者には、さまざまなコミュニケーション手段に対応できます。盲ろう者通訳・介助者現任研修があり、研鑽しています。



盲ろう者通訳・介助者派遣に利用登録している方が多い、ろうベース盲ろう者へのコミュニケーションにおける配慮

「触手話」は手話ができないからと遠慮せず、積極的に話しかける気持ちが大切です。視力低下前に書記言語を習得していますので、手のひらに書くだけの「手書き文字」で伝わります。

①自分の名前を伝える

そっと手や肩に触れてから伝えよう。

②話し始めたら盲ろう者にいつでも触れておく

突然手を離されると、情報を得る手段をなくし不安になるため、常に盲ろう者とどこかで触れておく。

③盲ろう者の言葉に相づちを打つ

「相づち」や「うなずき」などのしぐさは、盲ろう者にとって確認しにくいいため、代わりに方法で手や肩を軽くたたく方法で「相づち」を打つ必要がある。

④盲ろう者に話が通じているか常に確認する

説明不足や聞き間違い、誤解されて伝わることもあるため、盲ろう者の表情や発言内容などを確認する。伝わっていない場合は最初から言い直したりさらに説明を加える。

⑤その場を離れるときは、盲ろう者に伝えてから離れる

安全な環境におかれているかを確認後、離れる理由と時間を説明してから離れる。

お願い 盲ろう者に該当する方がいましたら、サポートがあることの情報提供をお願いします。

盲ろう者当事者いわく、「かなり制限のある生活でブラックホールの中に放り込まれたような状態で、今の生活が当たり前になり、積極的になれない。」社会参加の機会を周りからお声かけいただけるとうれしいです。ぜひ、当センターまでお問合せください。



令和7年度に盲ろう者通訳・介助者養成講座を実施する予定です。

2023（令和5）年度 利用者満足度調査の結果について

情報センターの効果的かつ効率的な管理及びサービス向上に資する観点から、今年度もアンケート調査を次のとおり実施しました。ご協力を頂きました皆様、ありがとうございました。回答につきましてご報告いたします。

- 1 実施期間 令和5年8月22日～9月22日
- 2 回答者数 112人（R4 111人）
- 3 回答者の属性 聴覚障害者45人（40.2%）健聴者67人（59.8%）

「良好」は「満足」「やや満足」「改善」は「不満」「やや不満」の合計 「未見」は「見たことがない」

質問事項	良好	改善	未見	R4良好
5 設備・環境	95.5%	4.5%		95.5%
6 開館時間・開館日	98.2%	1.8%		96.4%
7 職員の対応状況	97.3%	2.7%		92.8%
8 情報「聴情だより」	71.4%	6.3%	22.3%	75.7%
9 情報「ホームページ」	81.3%	2.7%	16.1%	75.9%
10 情報「公式LINE（ライン）」	39.3%	0.0%	60.7%	52.3%
11 手話通訳者派遣事業	96.4%	3.6%		82.3%
12 手話通訳者養成講習会	97.9%	2.1%		95.0%
13 手話通訳者定例研修会	90.6%	9.4%		78.6%
14 要約筆記者派遣事業	96.0%	4.0%		90.0%
15 要約筆記者養成講習会	95.5%	4.5%		87.5%
16 要約筆記者定例研修会	93.8%	6.3%		82.4%
17 盲ろう者通訳・介助者派遣事業	88.0%	12.0%		92.9%
18 盲ろう者通訳・介助者現任研修会	100.0%	0.0%		92.3%
19 ビデオライブラリー	81.8%	18.2%		87.3%
20 講演会（旧ろうあ者成人学級）	100.0%	0.0%		95.3%
21 コミュニケーション教室	100.0%	0.0%		94.1%
22 聴覚障害者相談事業	100.0%	0.0%		91.7%
23 就労支援事業	88.2%	11.8%		83.3%
24 全体として	98.2%	1.8%		96.4%

○皆様から頂いたご意見の一部

- ・建物の入り口が少し暗いイメージなので改善できると良いです。
- ・手話通訳の技術と知識の研修の充実をお願いしたい。
- ・手話言語条例制定後はろう者、手話に関わる人のみならず県民の心の拠り所として大切な場所です。
- ・学べる環境・機会があり自己覚知・研鑽できます。

○総括

昨年度の「満足」「どちらかといえば満足」の96.4%と比較し、高評価を頂いています。また、大きな落ち込み等もなく、今年度も利用満足度は高く、適切な運営がされていると考えます。

コメント中には、日頃の利用への感謝の言葉とセンターを心の拠り所として期待しているとの声がある一方、通訳者や職員の質的向上を望む声が聞かれました。現状で満足することなく、常に謙虚な心を持ち、研鑽に励む必要があります。施設整備につきましても、利用者の皆様が利用しやすい環境を常に考え、長期的な視野で検討を重ねてまいります。

これからも、適切な情報発信や通訳者の人材養成・派遣など充実した事業の推進に努力する所存です。

なお、施設設備につきましては、福祉プラザの管理者「障害者相談所」へ要望として伝えました。

アンケート方法により、通訳者からの回答が増加しました。しかしながら利用者の立場としての聴覚障害者の皆様からの回答が減少したことは残念です。

回答方法が複雑かつ時間がかかることが要因と考えられます。回答者が段々と高齢化するため、今後は回答方法についても通訳者を付けるなど、支援方法を工夫する必要があります。関係機関とも検討をしたいと思います。

講演会のお知らせ 13:00~15:00

(旧ろうあ者成人学級)

2月25日(日) 10:00~12:00
「大学における合理的配慮」

講師：山梨大学 助教
三枝 里江 氏

3月24日(日)
「手話で学ぶ日本語教室」

講師：赤塩 千春 氏

4月14日(日)
「満州から朝鮮への逃避行体験」

講師：赤星 孜 氏

詳細はチラシ、HP等でお知らせ致します。

中途失聴者・難聴者

コミュニケーション教室

13:30~15:00

2月25日(日)

3月17日(日)



参加希望する方は事前申し込みが必要です。
情報センターまでご連絡ください。

お知らせ

○全国統一要約筆記者認定試験

【日程】令和6年 2月18日(日)

【会場】福祉プラザ 4階

【試験内容】筆記試験、実技試験(手書き、パソコン)



☆2月17日(土)午後~18日(日)は試験のため会議室等利用できませんので
ご了承ください。

☆合格者は令和6年3月16日(土) ホームページに掲載します。

新着DVD紹介

新着DVD 10本購入しました。

ビデオライブラリー

☆ハートネットTV 水害から命を守る【記報-453】

・第1回 障害のある人の”避難行動”

・第2回 障害のある人の”避難生活”

台風など水害が起きた際、どう避難すればいいのか、避難先にて起こる困難なことは何か、その時どのような対応が必要なのか等、命を守るためにできることは何かを一緒に考える内容になっています。字幕のほか、ろう通訳者(寺澤英弥)が付いています。

☆知ったク地図帳【教育-161】

・水道局

・市役所

・図書館

地図上で用いられる沢山の地図記号が示されている意味や、市役所で住民に配布されている市民マップから市の提供するサービスの紹介、図書館の図書に付けられている数字は何を示しているのかなど、楽しく学べます。字幕の他、ろう通訳者(長井恵里)が付いています。



☆ろうを生きる難聴を生きる【記報-457】

・手話ニュースキャスターがやってきた!ファンミーティングin仙台<前半><後半>

手話ニュースキャスターの6人がイベントに出演。「手話は言語」であることを広めたいという思いを持つキャスターは、真面目なニュースだけではなく、見る人が楽しく見てもらえるように手話表現を考えたり生放送の裏話、本の読み聞かせの魅力、一人芝居を紹介。

情報センター内 試写コーナー、試写室にて鑑賞できます。

きこえない方だけではなくきこえる方へも貸出できます!詳細はホームページにて
DVD貸出リストが掲載しておりますので、お気軽にご利用ください!





情報センター イベントカレンダー

2024年（令和6年）



2月		3月		4月	
1	木	1	金 手話通訳入門講座（甲府）	1	月 休館日
2	金 手話通訳入門講座（甲府）	2	土 要約筆記者・奉仕員定例研修会	2	火
3	土 手話通訳者養成講座Ⅱ	3	日 手話通訳者養成講座Ⅰ	3	水
4	日 要約筆記者・奉仕員定例研修会	4	月 休館日	4	木
5	月 休館日	5	火	5	金
6	火	6	水	6	土
7	水 手話通訳入門講座（峡南） 要約筆記者養成講座	7	木	7	日
8	木	8	金 手話通訳入門講座（甲府）	8	月 休館日
9	金 手話通訳入門講座（甲府）	9	土	9	火
10	土 手話通訳者養成講座Ⅰ	10	日	10	水
11	日 建国記念日	11	月 休館日	11	木
12	月 休館日	12	火 手話通訳者定例研修会	12	金
13	火 手話通訳者定例研修会	13	水	13	土
14	水 手話通訳入門講座（峡南）	14	木	14	日 講演会
15	木	15	金 手話通訳入門講座（甲府）	15	月 休館日
16	金 手話通訳入門講座（甲府）	16	土	16	火 委嘱式
17	土 盲ろう者通訳介助者現任研修会 要約筆記者認定試験の準備	17	日 中途失聴者・難聴者コミュニケー ション教室	17	水
18	日 要約筆記者認定試験	18	月 休館日	18	木
19	月 休館日	19	火	19	金
20	火	20	水 春分の日	20	土
21	水	21	木	21	日
22	木 運営委員会	22	金 手話通訳入門講座（甲府）	22	月 休館日
23	金 天皇誕生日	23	土 手話通訳者養成講習会運営委員会	23	火
24	土 手話通訳者養成講座Ⅱ	24	日 講演会	24	水
25	日 講演会 中途失聴者・難聴者コミュニケー ション教室 要約筆記運営委員会	25	月 休館日	25	木
26	月 休館日	26	火	26	金
27	火	27	水	27	土
28	水	28	木	28	日
29	木	29	金	29	月 休館日
		30	土	30	火
		31	日		

〒400-0005甲府市北新1-2-12県福祉プラザ1階 電話 055-254-8660 FAX 055-254-8665
 Eメール deafyamanashi@canayell.co.jp ホームページ <http://canayell.co.jp/>
 ※FAX番号の間違いがないようお気をつけてください。

